



守備を指導する秋山選手



打撃を指導する鶴久森選手

あんないっしょや、いっしょあんないっしょ

HOMEOWN TOWN

写真 5 写真 6
12/27 現役プロの技術を学ぼう

愛媛出身の現役プロ野球選手などで構成される「プロ野球愛媛県人会」による野球教室が南レク城辺球場で開催され、プロの技を学ぼうと町内外の小中学生 184 名が参加しました。昨年末に発足した同県人会は、子どもたちに夢や目標を持って野球に取り組んでもらおうと県内 3 会場での野球教室を企画し、初開催となる今回は愛南町が会場の一つに選ばれました。

愛南会場では、鶴久森淳志外野手（北海道日本ハムファイターズ）、西原圭大投手（広島東洋カープ）、秋山拓巳投手（阪神タイガース）の 3 選手が、実技を交えながらキャッチボール、守備、打撃を熱心に指導しました。

教室を終え、内海中学校野球部 2 年生の檜田龍信くんは「今日教わったことを今後の練習に活かしたい」と充実した表情で意気込みを話しました。

本日!海日和!! vol.51 「ネコの日」



ネコに見える?

2月22日は、ニャン・ニャン・ニャンでネコの日だそう。いろいろな記念日があるものだと感心する。

海のネコと言えばウミネコを思い出すが、この名前は鳴き声がネコに似ていることに由来する。今回紹介するネコザメは顔がネコに似ていることから名前がついた。言われてみると似ているような、やっぱり似ていないような・・・。

ネコザメは名前からも分かるように、サメの仲間であるが、性格はいたっておとなしく、体長も1メートル程である。ウニやサザエを殻ごと飲み込み、すり鉢のような歯で殻を砕き、中身だけを上手に食べる。その様子からサザエワリと呼ぶ地域もある。

ネコは身近な動物だけに、アメリカにもロシアにも記念日があるそう。身近な動物を愛護することはもちろん大切だが、海の中でひっそりと暮らしているネコザメたちの環境のことも考えたいものである。

(撮影地:横島) 愛南サンゴを守る会 西尾知照

写真 4
1/8 新春恒例
薬師奉納相撲大会

約 150 年続いているとされる伝統の「福浦薬師奉納相撲大会」が福浦公民館横の土俵で開催されました。

大会には、福浦小学校全児童をはじめ同校卒業の御荘中学校の生徒、また、御荘中相撲部や南宇和少年相撲クラブのほか、一般からも選手が参加し、総勢約 50 名が力の入った取組で大会を盛り上げました。会場には 100 人を超す観客が訪れ、子どもたちの真剣な取組に大きな声援と拍手が送られていました。



1



3



5



2



4



6



御下賜金を拝受する
尾田施設長（写真右）

12/ **9** **伝統を受け継ぐ
勇ましい舞**

正木地区に伝わる古式ゆかしい伝統の舞「正木の花とり踊り」(県指定無形民俗文化財)が、正木権現堂、歆喜光寺境内、旧庄屋蔵岡家の庭の3か所で披露されました。

大勢の観客が見守るなか、雪輪笹紋の袖無上衣に裁着袴、赤い鉢巻といった出で立ちの踊り手が、鉦や太鼓のリズムに合わせ「エイ、ヤー」と刀や鎌を振るって舞いました。

12/ **23** **自在園が御下賜
金を拝受**

天皇誕生日に際し、優良民間社会福祉事業施設・団体に天皇陛下から贈られる「御下賜金」(金一封)を、特別養護老人ホーム自在園(満倉)が拝受しました。

12月19日に当施設で行われた伝達式で、稲田洋一郎南予地方局長から御下賜金を拝受した尾田正幸施設長は「今後もさらに研鑽を重ね、地域の皆様に愛され、信頼される施設をめざして日々の業務に取り組んでまいります」と述べ、入所者や施設職員と喜びを分かち合いました。

12/ **28** **サッカー王国再建
をめざして**

愛南町でサッカーをしている子どもたちにもっとサッカーを好きになってもらおうと、昨年につき「AINAN soccer's day 2014」が開催されました。

当日は雨天のため、会場が一本松体育館など屋内に変更されましたが、「すべては子どもたちの未来のために」をスローガンに、現在はサッカーJリーグの名古屋グランパスでコーチを務める實好礼忠さんなど南宇和高校出身の元Jリーガー3名が、小中学生に基礎技術などを指導しました。